

はじめに

序章 自動運転車による事故と紛争解決への「納得感」…………… 1	
—問題の所在—	
第1節 自動運転への期待と事故のリスク …… 1	
第2節 自動運転車等による事故の法的責任に関する課題の概要 …… 2	
第1章 自動運転に関わる法制度の概要 ……………… 11	
第1節 運転自動化レベルの定義 …… 11	
第2節 自動運転車等を取り巻く法制度 …… 13	
第2章 運転支援・自動運転による事故削減効果と新たなリスク …………… 23	
第1節 運転支援機能の普及状況と普及促進に向けた取り組み …… 23	
第2節 運転支援車による事故削減効果 …… 25	
第3節 運転支援車・自動運転車による事故 …… 30	
第4節 自動運転車等による事故削減効果の限界と新たな 事故リスクとは …… 35	
第3章 交通事故に伴う民事責任—従来型車両について— ……………… 43	
第1節 交通事故に伴う紛争の動向 …… 43	
第2節 不法行為責任の概要 …… 44	
第3節 運行供用者責任の位置づけと要件 …… 46	
第4節 自賠責保険と任意保険 …… 50	
第5節 製造物責任の位置づけと要件 …… 55	
第6節 本章の結び …… 59	

第4章	自動運転車等と過失相殺	65
第1節	自動運転時代の過失相殺	65
第2節	基準に関する課題	69
第3節	責任帰属に関する研究の概要	73
第4節	自動運転車等に対する責任帰属	76
第5節	自動運転の高度化と基準適用上の課題	81
第5章	運転の自動化に伴う民事責任上の論点	95
第1節	自動運転にまつわる法制度の現在と今後	95
第2節	運行供用者責任と自動運転の高度化に伴う論点	95
第3節	製造物責任と自動運転に関する論点	100
第4節	運行供用者責任制度を維持する場合の課題	103
第5節	新たな責任制度に関しこれまで示された案	106
第6節	制度検討上の課題	108
第6章	基準は従来型車両の紛争解決基準として機能しているか (調査1)	115
第1節	調査の目的——従来型車両による事故の基準と一般人の感覚の 比較	115
第2節	従来型車両による事故に対する一般人の感覚の調査方法	115
第3節	各事例の回答と基準の比較——全体像	117
第4節	前車の急ブレーキによる追突事故の回答と基準の比較	117
第5節	右折車と直進車の事故の回答と基準の比較	121
第6節	出会い頭事故の回答と基準の比較	126
第7節	右折車と歩行者の事故	130
第8節	直進車と歩行者の事故	134
第9節	従来型車両による事故に対する一般人の判断の特徴	138

第7章 運転支援車による事故の過失割合（調査2，調査3）…	141
第1節 運転支援車と従来型車両の過失割合（調査2）……	141
—第6章の事例との比較	
第2節 運転者とメーカーの責任分担（調査3）……	148
第3節 運転支援車の過失割合とメーカー・運転者の責任分担 のまとめ……	159
第8章 運転支援車に対する責任判断の背景（調査4）……	165
第1節 基準と一般人の判断，運転支援車と従来型車両の責任判断に 違いが生じる理由とは……	165
第2節 運転支援車に対する責任判断に影響する要素の調査方法 ……	167
第3節 高速道路上の急ブレーキによる追突事故の結果（事例4-1） ……	169
第4節 右折車と直進車の事故の結果（事例4-2）……	173
第5節 対歩行者事故の結果（事例4-3）……	178
第6節 判断に差が生じた理由の検討……	182
第9章 より高度な自動運転車に対する責任判断（調査5）……	191
第1節 本章のねらい——より高度な自動運転車に対する一般人の 責任判断とは……	191
第2節 より高度な自動運転車に対する責任判断の調査方法 （調査5-1）……	192
第3節 自動運転システムの不作動による歩行者との衝突 （事例5-1）……	193
第4節 自動運転車の過敏な反応が事故の誘因となった事例 （右折車と直進車の事故：事例5-2）……	196
第5節 自動運転車がプログラムどおりに作動し事故が起きた事例 （高速道路でMRMにより停止した車両に後続車が追突した事故： 事例5-3）……	199
第6節 より高度な自動運転車の責任判断——事例検討のまとめ……	202
第7節 自動運転車に対する認識（調査5-2）……	202

第 8 節	調査 5 のまとめ：自動運転車と従来型車両の責任判断の背景	208
<b>第10章</b>	<b>自動運転車の責任のあり方と市民感覚</b>	<b>215</b>
第 1 節	自動運転車と責任に関する意識調査の必要性	215
第 2 節	第 1 次のおよび最終的な責任負担者の感覚（調査 6）	216
第 3 節	欠陥概念（調査 7）	222
	—— 一般人は自動運転車に何を期待するのか	
第 4 節	自動運転車を取り巻く責任制度への市民感覚	229
<b>終 章</b>	<b>今後の交通社会における民事責任の姿とは</b>	<b>235</b>
第 1 節	現行の法制度が維持される間に生じうる課題	235
第 2 節	基準は現在の紛争解決の目安として機能しているか	236
第 3 節	自動運転の高度化と過失割合の基準	242
第 4 節	一次的責任主体の市民感覚と求償の実効性	248
第 5 節	納得の得られる紛争解決に向けて	250
索 引		265